教育・人文科学

〔研究テーマ〕

1 家庭科における学びの過程とその視点をふまえた授業づくり

2 小・中・高校の連携を生かした家庭科教育

伊波（有澤）

いは　ありさわ　ふくみ
教育学研究科
教職実践開発専攻

教授

キーワード

家庭科、学び、学習過程、授業分析、授業づくり、教材開発、ヴィゴツキー、佐伯胖、小中連携、ポートフォリオ、ワークシート、指導方法、授業記録

特許情報・共同研究・応用分野など

「2018年度　日本家庭科教育学会・学会賞」2018年07月日本家庭科教育学会

「家庭科の授業における学びの過程家庭科での学びを共有・深化させるP型シートを活用した異校種間システムの構築」2025年04月～2029年03月　基盤研究(C)

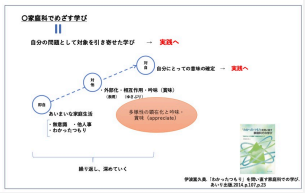
「僻地・小規模校における家庭科教育に関する研究ー異校種間の情報共有を視点としてー」2020年04月～2026年03月　基盤研究(C)
など。

研究概要

小・中・高校における家庭科授業の分析を行い、そこでの学びの過程を明らかにすることによって、子どもの学びの視点に立った家庭科授業の構想や教材開発を行っています。
また、小・中・高校の連携を生かした家庭科教育の実現に向けて、ICT等に活用による各校種・学校間の情報共有の在り方について研究も進めています。

1 家庭科における学びの過程とその視点をふまえた授業づくり

ヴィゴツキーの精神発達の理論及び佐伯胖の学習論をふまえ、家庭科授業における学習者の学びの過程について分析するとともに、その過程に働きかける家庭科授業の位置づけを明らかにしてきました（「自らにとっての意味を確定していく家庭科での学びーかかわりの場の構成をめざしてー」北海道大学大学院教育学院・博士学位論文.2013.）。その理論的枠組みのもと、家庭科授業の構想や教材開発等を行っています。

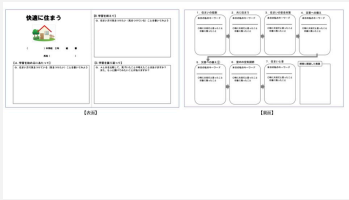


図：家庭科でめざす学び

2 小・中・高校の連携を生かした家庭科教育

宮崎県における家庭科の小中連携教育について実態を調査し課題の把握を行ってきましたが、さらに高校まで含め、家庭科教育における小・中・高校の連携のあり方について検討しています。

小・中・高校の連携の場として「家庭科の授業を語る会」を214回にわたり主催するとともに、連携を推進するため、ICTを活用し、これまでに開発してきた「ポートフォリオ型ワークシート（P型シート）」および授業者用「指導記録用紙」を用いた情報共有のあり方についての研究も行っています。



図：P型シートの例

ホームページ

「家庭科の授業を語る会」
https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/

技術相談に応じられる関連分野

家庭科授業に関するご相談にはいつでも対応可能です。

メッセージ

「家庭科の授業を語る会」へ、お気軽にご参加下さい。
●開催日時：毎月第3土曜日　午後2時～午後5時
●開催場所：宮崎大学教育学部・技術家庭科棟2階　T211教室　及び　zoomでの開催